

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		マーブルスポット	事業所における自己評価結果			公表日 令和8年1月13日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8			
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1		・職員（子供と接する大人）の人数が足りないと思うときがある。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		・ラベリングをしたり出す量の目安になるよう数を示すなどして子供に分かりやすい収納方法を心掛けている。 ・トイレや出入り口はバリアフリー（トイレの個室が広い、段差なし）になっている。 ・子供たちが活動しやすいよう、片付けを行ったり配置を変えたりして環境を整えている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		・毎日の清掃や週の初めは特に念入りにウェットシート等で掃除している。床の状態や物の位置などは危険な箇所がないか点検している。 ・毎日活動後、清掃・消毒を行っている。	・清潔で過ごしやすい環境のために業者に連絡し、修繕・対応してもらった。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		・子供によっては学習に集中しやすくするために個室を利用したり、パーテーションで仕切ったりしている。 ・必要に応じて個室を使ったりパーテーションを利用しスペースを作っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		・外部評価を受けたことはないが、第三者委員は設置している。 ・第三者委員は設置している。 ・外部評価が行われているかは分からぬ。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8			
支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		・計画を作成する際、責任者以外の職員も参加して全体で話し合いを行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		・楽手や指先の機能訓練などマンネリ化しないように子供に応じて作業内容や難易度も工夫して変えている。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		・季節ごとのイベントや工作について職員で意見を出し合って考えている。 ・職員で話し合って活動内容を考えり、ふりかえりもしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・できるだけマンネリ化しないように気を付けている。 ・季節の工作ではいろいろな技法や材料を取り入れて固定化しないようにしている。 ・夏休みのお出かけ先やイベント（ハロウィン、クリスマス等）、季節ごとの工作など工夫している。この夏は新しく長登銅山へ行ったが良かったと感じた。 ・季節の行事やその時々の子供の興味・関心に基づいた活動も取り入れながら固定化せず様々な活動ができるように考えてはいるがもっと活動の幅を広げたり、バリエーション豊かにしたい思いはある。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		・その日気にかける事などは事前に話している。 ・その日必要な連絡事項等、職員間で情報共有できている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		・その日気になったことなど職員間で話し合うようにしている。 ・その日気になったことなどは職員間で話し合い、情報共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		・その日の様子や計画目標に対する記録をとっている。 ・丁寧な記録ができている。記録に時間がかかることもありますその点が課題である。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	8		・3つ（自立支援、創作活動、余暇）はしっかり行えていると思う。 ・地域交流がさらに増えるとなお良い。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		・子供に活動前に問うことはできている。人によっては選択式の方が有効な時もあるので選択式で聞くことが多い。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
関係機関や保護者	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		・相談事業所を中心とした他の事業所、学校と予定を合わせて担当者会議を開き、連携している。会議ができていない子供もいるが。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		・下校時刻は保護者に教えてもらうことが大半だが、場合によっては学校に直接お尋ねすることもある。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		・相談事業所を通じて就学前の情報を共有させてもらうことが多い。 ・情報共有のための会議がある。 ・3月に会議がある。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1	・就労支援事業所とも連絡を取り合い、見学に行かせてもらったりしている。 ・障害福祉サービス事業所から求めがあれば提供する。（学校を通じて情報共有ができる場合もある）	・引き続き、情報共有をしながらより良い支援ができるようにしたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1	・研修で参加している。	・引き続き参加していく。

「の連携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	1	・夏休みのお出かけ先で地域の子供たちと接する機会あり。 ・夏休みのお出かけ先でスポット以外の地域の子供と一緒に遊ぶ機会があった。	・時間が取れる時には地域のデイサービスや高校などとの交流の機会を設けていきたい。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3	・無記入1。 ・以前は参加していた。	・時間が合えば参加したい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		・連絡帳・送迎時、面談などで情報共有をしている。必要な場合は電話でもしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	・無記入1。 ・研修会等の情報は玄関に掲示しているが、迎えに来られる保護者が対象。全体への提供はできていない。 ・保護者からの相談などは要望があれば随時受け付けている。	・今後、外部講師を招いて職員も含めて研修会を開くなど検討したい。 ・研修のお知らせはLINE等も活用し、全保護者に周知できるようにしたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	4	・以前はあったが参加人数が少なくなったのでなくなった。	・検討したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		・スポット通信を発行し、避難訓練や子供の活動の様子を発信している。 ・スポット通信を不定期だが発行して様子を伝えている。 ・スポット通信を日々配布し、避難訓練の様子などお知らせした。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		・地域の高校からの職場体験で希望があり、実際に来ていただいた。 ・地域の高校生や大学生がボランティアや介護体験、アルバイトで来てくれてふれあっている。 ・山口市の山口街中安全サポーターの方に来ていただいた。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		・山口市の山口街中安全サポーターの方に来ていただき、不審者対応訓練を行っていただいた。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		・服薬やてんかん発作について情報を共有している ・保護者に確認している。	

非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		・保護者に確認している。 ・保護者を通じて食物アレルギーの対応の仕方を教えていただき、職員で共有している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8			